

●建設上手くんα ProII Version:11.408

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 登録・入力

➤ 仕訳入力／F7 摘要登録

①詳細登録画面の摘要辞書削除時、該当摘要コードが科目枝番名称等で使用されている場合に、使用されている科目の一覧を表示するように対応しました。

➤ 科目設定・残高登録

①「摘要辞書登録」で摘要辞書削除時、科目枝番名称や自動仕訳等で使用されている場合に、使用されている科目の一覧を表示するように対応しました。

◆ 出力

➤ 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

①別記仕訳を通常の仕訳と分けて出力できるように、[F6 詳細設定]に「消費税区分が別記の場合行を分けて表示する」の選択を追加しました。

◆ 銀行CSV取込

➤ 「金融機関登録」「支店・科目登録」「取込指定」画面に絞込機能を追加しました。  
複数金融機関が登録されている場合に1金融機関のみ絞り込んで表示します。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“財務処理db (VERSION:11.408) の変更点”を参照してください。

📌 注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

# 財務処理 d b (VERSION:11.408) の変更点

## 改良

### I. 導入・更新

#### 1) 翌期更新

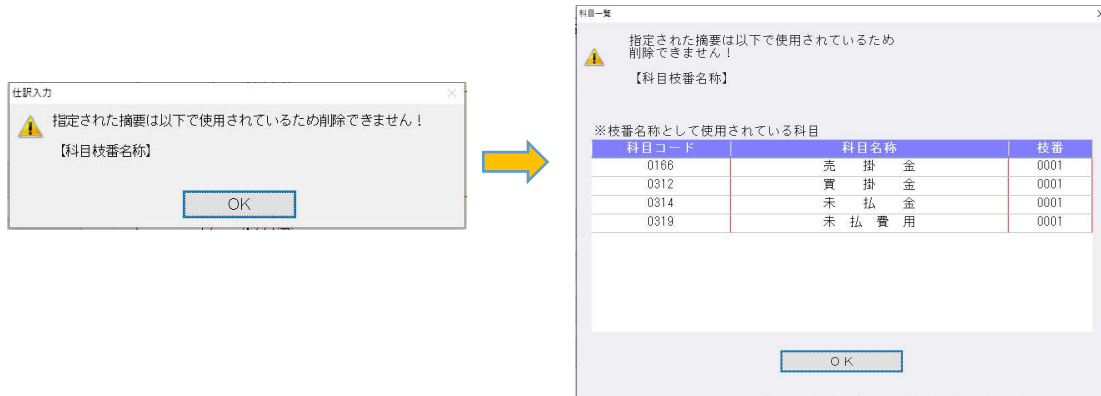
- ①建設マスターで工事台帳マスター登録を行っていないマスターでも、工事台帳の更新設定ダイアログを表示していたため、建設業種かつ工事台帳マスター登録を行っているマスターである場合のみ、工事台帳の更新設定ダイアログを表示するように変更しました。

### II. 登録・入力

#### 1) 仕訳入力/F7 摘要登録

- ①詳細登録画面の摘要辞書削除時、該当摘要コードが科目枝番名称等で使用されている場合に、使用されている科目の一覧を表示するように対応しました。※対応前のプログラムと同じように、削除できないように制御しています。

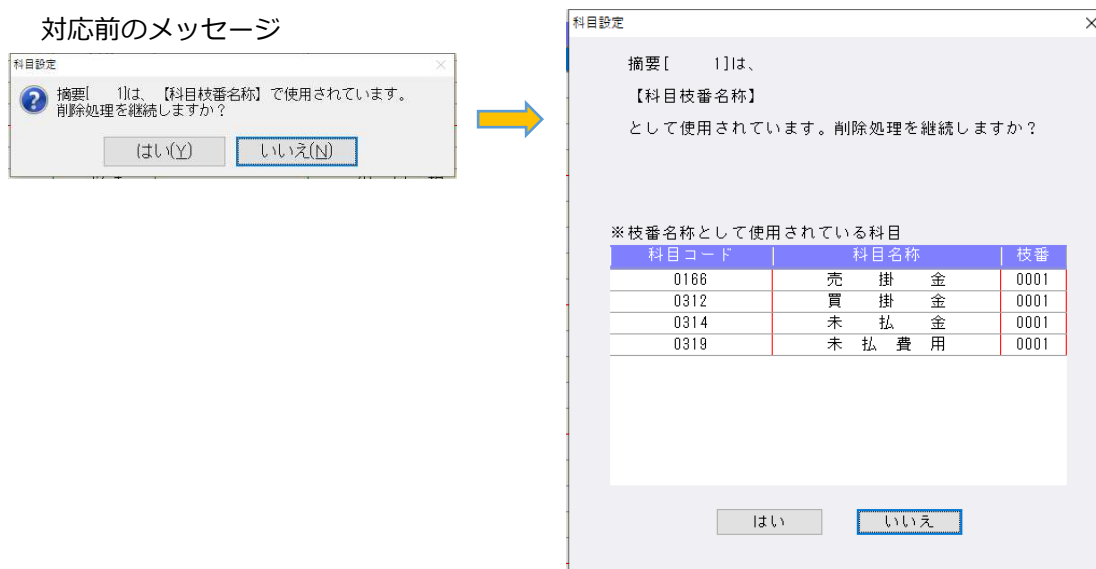
対応前のメッセージ



#### 2) 科目設定・残高登録

- ①「摘要辞書登録」で摘要辞書削除時、科目枝番名称や自動仕訳等で使用されている場合に、使用されている科目の一覧を表示するように対応しました。

対応前のメッセージ



### Ⅲ. 出力 (DX・ProⅡのみ)

#### 1) 比較・推移表

① 予算と部門配賦を使用している場合、予算の配賦が行われるように対応しました。

##### ○通常配賦例

勘定科目	( 発 生 対 比 )		( 累 計 対 比 )	
	予 算 (A)	対 売 上 比	実 績 (B)	対 売 上 比
売 上 高 1	1800000	100.0	2000000	100.0
【純 売 上 高】	1800000	100.0	2000000	100.0
仕 入 配 賦 額	900000	-	1000000	-
【売 上 原 価】	900000	50.0	1000000	50.0
(売 上 総 利 益)	900000	50.0	1000000	50.0
(経 常 利 益)	900000	50.0	1000000	50.0
売 上 配 賦 額 100%	△360000	-	△400000	-
【配 賦 後 経 常 利 益】	540000	30.0	600000	30.0
(税 引 前 当 期 純 利 益)	540000	30.0	600000	30.0
(当 期 純 利 益)	540000	30.0	600000	30.0

##### ○科目別配賦例

勘定科目	( 発 生 対 比 )		( 累 計 対 比 )	
	予 算 (A)	対 売 上 比	実 績 (B)	対 売 上 比
売 上 高 1	2700000	100.0	3000000	100.0
【純 売 上 高】	2700000	100.0	3000000	100.0
仕 入 高 1	1350000	50.0	1500000	50.0
【売 上 原 価】	1350000	50.0	1500000	50.0
売 上 原 価 配 賦 額	△1350000	-	△1500000	-
(売 上 総 利 益)	1350000	50.0	1500000	50.0
給 料 手 当	540000	20.0	600000	20.0
【販 売 費 及 び 一 般 管 理 費】	540000	20.0	600000	20.0
販 売 管 理 費 配 賦 額	△540000	-	△600000	-
(管 業 利 益)	810000	30.0	900000	30.0
(経 常 利 益)	810000	30.0	900000	30.0
(税 引 前 当 期 純 利 益)	810000	30.0	900000	30.0
(当 期 純 利 益)	810000	30.0	900000	30.0

#### 2) 部門別損益計算書・貸借対照表 (ProⅡのみ)

① 「前年項目を予算で出力する」がチェック ON で、予算と部門配賦を使用している場合に、予算の配賦が行われるように対応しました。

##### ○通常配賦例

勘定科目	(0001)			(0002)			(0003)			(0004)		
	実	績	予 算	実	績	予 算	実	績	予 算	実	績	予 算
売 上 高 1	1,000,000	900,000	90.0	2,000,000	1,800,000	90.0	3,000,000	2,700,000	90.0	4,000,000	3,600,000	90.0
【純 売 上 高】	1,000,000	900,000	90.0	2,000,000	1,800,000	90.0	3,000,000	2,700,000	90.0	4,000,000	3,600,000	90.0
仕 入 配 賦 額	500,000	450,000	90.0	1,000,000	900,000	90.0	1,500,000	1,350,000	90.0	2,000,000	1,800,000	90.0
【売 上 原 価】	500,000	450,000	90.0	1,000,000	900,000	90.0	1,500,000	1,350,000	90.0	2,000,000	1,800,000	90.0
(売 上 総 利 益)	500,000	450,000	90.0	1,000,000	900,000	90.0	1,500,000	1,350,000	90.0	2,000,000	1,800,000	90.0
(管 業 利 益)	500,000	450,000	90.0	1,000,000	900,000	90.0	1,500,000	1,350,000	90.0	2,000,000	1,800,000	90.0
(経 常 利 益)	500,000	450,000	90.0	1,000,000	900,000	90.0	1,500,000	1,350,000	90.0	2,000,000	1,800,000	90.0
売 上 配 賦 額 100%	△200,000	△180,000	-	△400,000	△360,000	-	△600,000	△540,000	-	△800,000	△720,000	-
【配 賦 後 経 常 利 益】	300,000	270,000	90.0	600,000	540,000	90.0	900,000	810,000	90.0	1,200,000	1,080,000	90.0
(税 引 前 当 期 純 利 益)	300,000	270,000	90.0	600,000	540,000	90.0	900,000	810,000	90.0	1,200,000	1,080,000	90.0
(当 期 純 利 益)	300,000	270,000	90.0	600,000	540,000	90.0	900,000	810,000	90.0	1,200,000	1,080,000	90.0

##### ○科目別配賦例

勘定科目	(0001)			(0002)			(0003)			(0004)		
	実	績	予 算	実	績	予 算	実	績	予 算	実	績	予 算
売 上 高 1	1,000,000	900,000	90.0	2,000,000	1,800,000	90.0	3,000,000	2,700,000	90.0	4,000,000	3,600,000	90.0
【純 売 上 高】	1,000,000	900,000	90.0	2,000,000	1,800,000	90.0	3,000,000	2,700,000	90.0	4,000,000	3,600,000	90.0
仕 入 高 1	500,000	450,000	90.0	1,000,000	900,000	90.0	1,500,000	1,350,000	90.0	2,000,000	1,800,000	90.0
【売 上 原 価】	500,000	450,000	90.0	1,000,000	900,000	90.0	1,500,000	1,350,000	90.0	2,000,000	1,800,000	90.0
(売 上 総 利 益)	500,000	450,000	90.0	1,000,000	900,000	90.0	1,500,000	1,350,000	90.0	2,000,000	1,800,000	90.0
給 料 手 当	200,000	180,000	90.0	400,000	360,000	90.0	600,000	540,000	90.0	800,000	720,000	90.0
【販 売 費 及 び 一 般 管 理 費】	200,000	180,000	90.0	400,000	360,000	90.0	600,000	540,000	90.0	800,000	720,000	90.0
販 売 管 理 費 配 賦 額	△200,000	△180,000	-	△400,000	△360,000	-	△600,000	△540,000	-	△800,000	△720,000	-
(管 業 利 益)	300,000	270,000	90.0	600,000	540,000	90.0	900,000	810,000	90.0	1,200,000	1,080,000	90.0
(経 常 利 益)	300,000	270,000	90.0	600,000	540,000	90.0	900,000	810,000	90.0	1,200,000	1,080,000	90.0
(税 引 前 当 期 純 利 益)	300,000	270,000	90.0	600,000	540,000	90.0	900,000	810,000	90.0	1,200,000	1,080,000	90.0
(当 期 純 利 益)	300,000	270,000	90.0	600,000	540,000	90.0	900,000	810,000	90.0	1,200,000	1,080,000	90.0

②複数月指定しても、各月で出力できるように「指定期間を合算する」の機能を追加しました。

出力期間の指定

出力月

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 決

02年 01月 01日 ~ 02年 12月 31日 決

指定期間を合算する

- ・チェック ON の場合…複数月を合算して出力します。（対応前の動作と同じ）
- ・チェック OFF の場合…指定された月をそれぞれ単月で出力します。

### 3) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合（経理上手くんαは消費税タブ）

①別記仕訳を通常の仕訳と分けて出力できるように、[F6 詳細設定] に「消費税区分が別記の場合行を分けて表示する」の選択を追加しました。

詳細設定

出力選択

消費税額試算表のみ出力する

課税区分別集計表のみ出力する

枝番未入力残高を出力する

科目名称を科目設定業務の合計名称より出力する

網掛出力をする

B4帳表をA4に圧縮する

B4帳表をA3に拡大する

集計選択

課税取引期間計より消費税額を算出する（総額）

一括税抜月時、課税取引を税込で集計する

総額一括税抜時の資産譲渡合計の税額を課税取引より計算する

仕入区分の税額に関する課税価格を税込表示する【個別対応】

課税区分別集計を税込で表示する【簡易課税】

消費税区分が別記の場合、行を分けて表示する

改行選択

1改行

1.5改行

OK キャンセル

## IV. グラフ (ProIIのみ)

### 1) 科目別比較推移 (予測) グラフ

①詳細項目設定に「グラフ表示：分割数を優先/最大値 (最小値) を優先」の選択を追加しました。

- ・最大値 (最小値) と分割数の両方で任意の数値を指定した場合に選択が可能となります。
- ・最大値÷分割数により目盛りの数値を計算します。
- ・指定した最大値が分割数で割り切れない場合は、最大値もしくは分割数を補正し出力します。

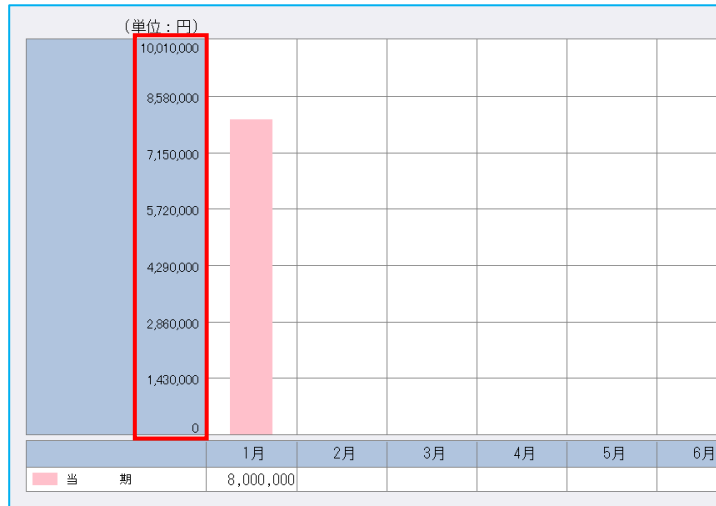
《例》

最大値を 10,000,000、分割数を 7、分割数を優先にした場合

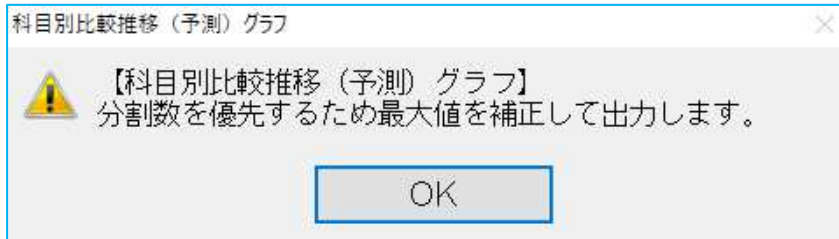
最大値 10,000,000÷分割数 7=1,428,571.42…

上記の計算で割り切れないため、目盛りの数値は 1,430,000 に調整します。

したがって最大値は、目盛りの数値 1,430,000×分割数 7=10,010,000 に補正し出力します。



また、《例》のように最大値を補正して出力する際は、下記メッセージが表示されます。



②詳細項目設定で最小値を指定する際に、マイナスの数値を入力できるようになりました。

詳細項目設定	
売上高 1	▼
帳票名	科目別比較推移 (予測) グラフ
グラフ種類	棒 ▼
最大値	任意 ▼
任意数値	10,000,000 円
最小値	任意 ▼
任意数値	-10,000,000 円
単位	円 ▼
分割	任意 ▼
分割数	7 (3 ~ 20)
グラフ表示	分割数を優先 ▼

※上記①②の改良については、科目別比較推移（予測）グラフ以外の下記業務でも同様の対応を行っています。

《対応業務》

売上関係図表、前年実績比較推移グラフ、資産・資本構成図表、損益構成図表、科目別比較グラフ、複合比較（5科目）グラフ、部門対比（5科目）グラフ、科目別比較推移（予測）グラフ、複合推移（5科目）グラフ、部門対比推移グラフ、Zチャート

## V. 工事台帳（建設上手くんのみ）

### 1) 工事登録

①工事登録にて、完成工事高振替の時に転記する「完成工事科目」を設定できる項目を設け、完成工事振替処理で、工事登録に登録された「完成工事科目」を参照し、完成工事高振替の仕訳を作成するように対応しました。

The screenshot shows the '工事登録' (Work Registration) form. The '完成工事科目' (Completion Work Item) field is highlighted with a red box and contains the value '200 完成工事高'. Other fields include '工事番号' (Work No.), '工事名(正式)' (Official Work Name), '現場住所' (Site Address), '発注者' (Orderer), and '発注日' (Order Date).

### 2) 完成工事処理

①完成工事高振替仕訳の完成工事未収金または未成工事受入金（以下、受入金科目とします）に枝番をつける機能について、以下の対応を行いました。

(1)「発注者コードを受入金科目枝番として転記する」選択をオプションダイアログ内に追加しました。

完成工事振替

発注者コードを受入金科目の枝番として転記する

枝番を付加する場合、工事登録に登録された発注者コードを枝番として転記します。

枝番コードと発注者コードは最大桁数が異なるため（発注者コード:4桁、枝番コード:6桁）枝番コードの桁数が発注者コードより多い場合は、発注者コードの前に "0" を付加して転記します。

The screenshot shows the '完成工事振替処理' (Completion Work Replacement Processing) screen. A dialog box titled '振替処理設定' (Replacement Processing Settings) is open. The '仕訳作成方法' (Journal Entry Creation Method) is set to '明細' (Details). The option '発注者コードを受入金科目の枝番として転記する' (Transfer the order code as the branch code of the receivable item) is highlighted with a red box. Other options include '仕訳に工事番号を付ける' (Attach work number to journal entry) and '仕訳の枝番に以下で指定した工事番号を転記する' (Transfer the work number specified below to the journal entry branch code).

集計工事登録 発注者登録 営業担当者登録 現場担当者登録

現在登録数 7

コード	発注者名称	50音
0001	○土木事務所	ツブル
0002	○交通局	ツブル
0003	○市役所	ツブル
0004	×建設株式会社	バカハ
0005	△建設建設会社	カカフ
0006	□砂防事務所	シカフ
0007	◇国道事務所	シカフ

(2) 原価振替処理、完成工事高振替処理とも、財務に転記する前に作成する仕訳を確認できる一覧を新たに表示するようにしました。(編集は不可)

完成工事振替 / 完成工事原価処理

社印一覽

工事番号指定 全工事

工事番号	日付	科目	借元	貸元	金額	借振	貸振元	借元
3000001	0'13	0621] 材料 仕入 110	0'71] 完成工事仕立金 362	1,006,000	0'43振	土木事務所	振替	
3000001	0'13	0601] 外 注 費 110	0'71] 完成工事仕立金 363	18,119	0'43振	土木事務所	振替	
3000001	0'13	0601] 材料 雑費 110	0'71] 完成工事仕立金 363	279,793	0'43振	土木事務所	振替	
3000002	0'13	0601] 材料 仕入 110	0'71] 完成工事仕立金 363	9,636,364	0'43振	土木事務所	振替	
3000002	0'13	0641] 賃金 系 110	0'71] 完成工事仕立金 364	2,727,271	0'43振	土木事務所	振替	
3000002	0'13	0600] 材料 110	0'71] 完成工事仕立金 363	272,727	0'43振	土木事務所	振替	
3000002	0'13	0601] 材料 仕入 110	0'71] 完成工事仕立金 363	78,119	0'43振	土木事務所	振替	
3000003	0'13	0601] 材料 仕入 110	0'71] 完成工事仕立金 363	8,636,364	0'43振	土木事務所	振替	
3000003	0'13	0601] 外 注 費 110	0'71] 完成工事仕立金 363	2,727,271	0'43振	土木事務所	振替	

仕訳作成(F10) 検索(F10)

## VI. 銀行 CSV 取込

- ① 「金融機関登録」「支店・科目登録」「取込指定」画面に絞込機能を追加しました。複数金融機関が登録されている場合に1金融機関のみ絞り込んで表示します。

各画面の右上に「絞り込み検索」ボタンが追加されています。

### 「金融機関登録」

金融機関登録

銀行

絞り込み検索

金融機関登録コード	銀行名称	パターン名称
0001	みずほ	
0005	三菱UFJ	てすとてすと
0009	三井住友	SMB Cダイレクト
0010	りそな	

新規作成 削除

項目登録

追加する項目は、右一覧から選択し、ドラッグ&ドロップで下のリストに登録してください。

日付	CSV読取1	CSV読取2	入金	出金	入出金	残高	ダミー	区分
ダミー10列	ダミー2列	区分	ダミー	日付	ダミー	入出金	ダミー	区分
入金入金 出金支出(出金)	ダミー2列	年度無し mm.dd(2列)	ダミー2列	金額	ダミー1列			

ドラッグ&ドロップで項目順を変更することが可能です。欄外へドラッグ&ドロップすることで、削除することが可能です。ダミー項目は複数指定できます。

登録 処理終了

「銀行」で [絞り込み検索] をクリックすると下記の画面を表示し、金融機関を選択し、OK [F12] で絞り込みを行います。(1 金融機関のみ選択可)

銀行名	コード
十八親和	0181
南都	0162
みずほ	0001
三井住友	0009
三菱UFJ	0005
リソナ	0010

「クレジット」「その他」で [絞り込み検索] をクリックすると下記の画面を表示し、任意の文字列を入力して、「絞り込み」で絞り込みを行います。

絞込中は [絞り込み解除] にボタン名称が変わり、クリックで絞込を解除します。金融機関追加や再度「金融機関登録」を開くと絞込解除された状態に戻ります。



## 「支店・科目登録」

No.	銀行名称	支店名称	種別	口座番号
0001	三菱UFJ	赤坂	普通	0123456
0002	三菱UFJ	秋葉原	普通	0010203
0003	みずほ	赤羽	普通	0003006

## 「取込指定」

No.	銀行名称	支店名称	種類	口座番号	科目名	ヘッダー名称
1	三菱UFJ	赤坂	普通	0123456	普通預金1[-]	ですとですと
2	三菱UFJ	秋葉原	普通	0010203	普通預金2[-]	ですとですと
3	みずほ	赤羽	普通	0003006	定期預金1[-]	

②各リスト表示で、No や名称列の項目名をクリックすると、昇順・降順の切替を行うようにしました。

# 修正

## I. 導入・更新

### 1) マスター修復

①原票と証憑の関連付け情報が不正になる場合があり、その結果特定の仕訳に関連付いている証憑を印刷しようとした時に、延々とページ数が増加して印刷できなくなる問題が発生していたため、その原因を修復するように対応しました。

## II. 登録・入力

### 1) 仕訳入力

①仕訳挿入時、直前の仕訳が原票から転記した仕訳のとき、摘要欄を Enter で進めても複写できなかったのを修正しました。

この現象は原票会計で転記を行った仕訳で現象が発生していました。該当の仕訳のあとに挿入した場合でも、摘要欄で Enter を押したときには、上段の摘要がコピーされるように修正しています。

②損益のみ部門で、貸借科目に部門をつけた場合、摘要欄を Enter キーで進めても、貸借科目の部門がクリアされなかったのを修正しました。

部門入力設定が損益のみのマスターでは、借方・貸方が貸借科目である時、部門番号が設定されているとその部門番号を消す処理を行います。摘要欄で Enter を押したときには、画面上の部門番号が消えていなかったため、消すように修正しています。

## 2) 元帳検索

①元帳検索の補助元帳形式で、仕訳修正タブで F7 前科目・F8 次科目をマウスで押下時に枝番も切り替わるように修正しました。

※マウスホイールでは切り替わりませんので、プルダウンで選択してください。

②「伝票形式入力タイプの表示」にチェックを入れている場合、確定済み仕訳の修正を不可にしていると伝票形式入力の送信済み仕訳が伝票形式で表示されていなかったのを、確定済み仕訳の修正を不可にしても伝票形式で表示されるように修正しました。

## 3) チェックリスト

①A4 横出力で、ページの一番下まで仕訳が出力されている場合、チェックリストを出力し、右下に作成日・時間・事務所名を出力すると罫線に掛かっていたのを修正しました。

## 4) 部門設定 (Pro II のみ)

①消費税設定の「部門消費税区分を設定する」が、以前に変更する前の「部門消費税区分を登録する」に前回分から戻っていたのを修正しました。(部門コード変更対応以降)

# Ⅲ. 出力 (DX・Pro II のみ)

## 1) 総勘定元帳 (経理上手くんαは登録・入力/指定元帳)

①F7 出力書式→消費税区分：出力する、“基本科目が消費税対象外の場合出力しない”にチェックをつけた場合、仮受消費税と仮払消費税の「5」や「8」も出力されなくなっていたため、表示されるように変更しました。

※“基本科目が消費税対象外の場合出力しない”のチェックの有無に関わらず、基本科目が仮受消費税・仮払消費税は「5」「8」を出力するように変更しています。

“標準税率を出力しない”のチェックがついているときは、「10」は出力しません。

- ②形式：2段出力形式（白紙 A4）で、[工事番号を出力(当該科目)]「一括税抜き仕訳を工事番号別に出力する」は未チェックの場合、一括税抜き仕訳に工事番号が出力されないよう修正しました。

「一括税抜き仕訳を工事番号別に出力する」のチェックが ON の場合、  
一括税抜き仕訳が工事番号単位で作成されるため、工事番号を出力します。

「一括税抜き仕訳を工事番号別に出力する」のチェックが OFF の場合、  
一括税抜き仕訳が一本化されるため、工事番号を出力しません。

- ③業務呼出で仕訳入力に移動して、F4 入力設定にて「科目コード表示・番号表示」を切り替えた場合、総勘定元帳の科目選択画面に変更内容が反映していなかったのを修正しました。

## 2) 付属明細書

- ①科目設定の科目順変更で並び替えた科目順が付属明細書の出力にも反映されるように修正しました。

## 3) 比較・推移表

- ①事業期間の開始日が 1 日ではなく、かつ締日が期で異なる場合、期間損益推移表の出力期を「前期」にすると、金額が 1 月ずつずれて印字されていたのを修正しました。
- ②翌期更新をすると「決修月を単独表示する」のチェックが外れていたため、チェックを保持するように修正しました。
- ③枝番を使用しているマスターで、比較表の「枝番表示を行う」にチェックを付けたまま、会社情報修正で「枝番入力：行わない」に変更すると、比較表の「要約出力する」のチェックがグレーアウトのままチェックができない状態になっていたのを修正しました。
- ④比較貸借推移表において、合計欄設定を「同月累計（前期・当期）」や「同月累計（前々期・前期）」に設定しているとき、出力機に関係なく当期から見た期の同月累計を指していたのを、出力期による相対的な期の同月累計で集計するように修正しました。

《例》

- ・出力期=前期、「同月累計（前期・当期）」の場合
  - 前期同月残高
    - 従前 前期（当期から見た前期）
    - 今回 前々期（前期から見た前期）
  - 当期同月残高
    - 従前 当期（当期から見た当期）
    - 今回 前期（前期から見た当期）

⑤「科目設定・残高登録」業務の科目順変更で小分類の科目順を変更後、[F7 合計・明細]でスケジュールの初期化を行うと、並び替える前の順序に戻っていたため、科目順変更の並び順が原本となるように修正しました。

※当現象は合計科目のみで、明細科目は従前より入れ替わっています。

⑥勘定科目欄における文字のフォントサイズ・位置の調整を行いました。

#### 4) 部門別損益計算書・貸借対照表 (Pro IIのみ)

①「仕入値引」「売上値引」を「仕入高」「売上高」に科目集合した場合、貸借属性に関係なく加算していたので、貸借属性の通りに加算・減算するように修正しました。

※「売上戻り」「仕入戻し」「材料仕入値引」「材料仕入戻し」も同様の対応を行っています。

②部門別損益計算書、比較部門別損益計算書を出力したときに、「枝番表示を行う」にチェックがあると、発生のない科目が出力される場合があったのを修正しました。

#### 5) 予算実績・対比表 (Pro IIのみ)

①予算実績対比表を部門別で出力した際に、「期首材料」「期末材料」の実績の金額が間違った金額で出力することがあったため修正しました。

#### 6) 消費額試算表・集計表・課税売上割合 (経理上手くんαは消費税タブ)

①個別対応方式マスターで、「仕入区分の税額に関する課税価格を税込表示する」にチェックを入れている場合に、各仕入区分の金額が表示されなかったため修正しました。

### IV. グラフ (Pro IIのみ)

---

#### 1) 経営内部透視図表 (レーダーチャート)

① [F9 単位テーブル] の売上高増加率の下限欄に小数点以下が入力できなかったのを修正しました。

### V. 通信・移動

---

#### 1) マスター&データ抽出

①法人税申告d b (所得税申告d b) がある過年度マスターを「マスター送信 (修正可能転送)」で送信されたファイルを抽出すると、財務は正常に抽出されますが、抽出した年度に法人税申告d b (所得税申告d b) マスターがあると法人税申告d b (所得税申告d b) マスターが消えていたのを修正しました。

抽出元：財務+法人税→抽出先：財務+法人税 法人税が退避から復元されていませんでした。  
(事務所内での移動で使用されているケース)

抽出元：財務→抽出先：財務+法人税の場合は法人税は消えません。  
(経理上手くんαから事務所への送信)

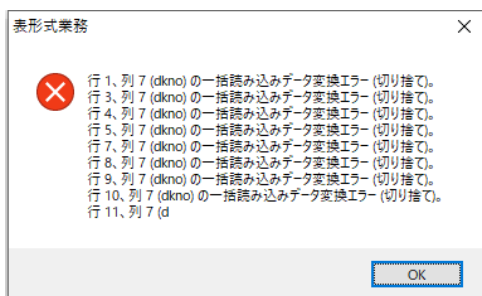
## VI. 表形式（Pro IIのみ）

### 1) 表形式部門残高作成

- ①部門設定の入力部門設定でチェックを付けている状態で、表形式部門残高作成すると、売上高や仕入高の科目が出てこなかったのを修正しました。

### 2) 表形式振替伝票データ取込

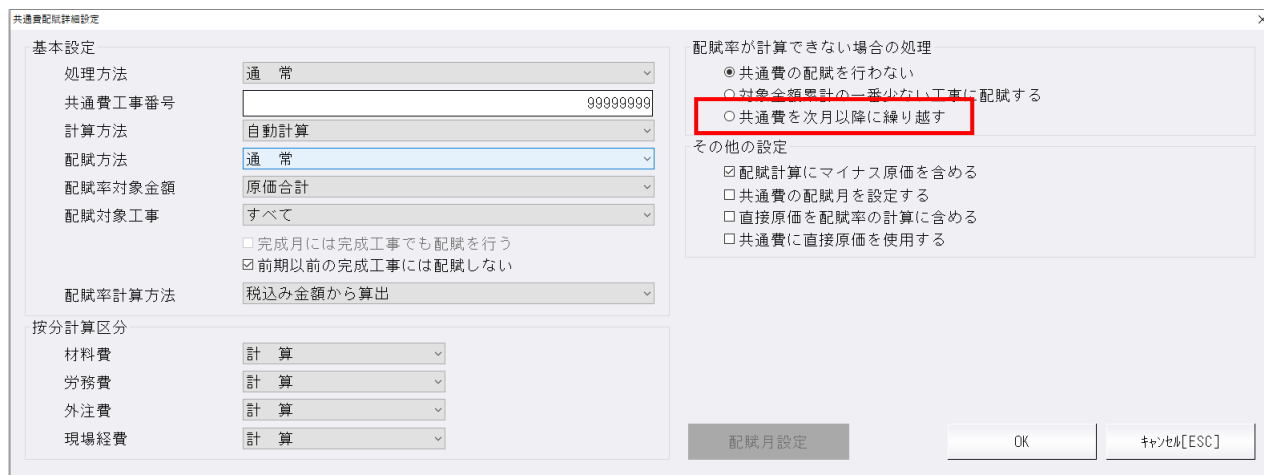
- ①工事番号入力設定で、9桁以上に設定し、CSVの借方工事番号に9桁以上の入力を行い、[伝票種別を「振替伝票」として取り込む]にチェックを付けて取り込むと、“行1,列7(dkno)一括読み込みデータ変換エラー（切り捨て）。”のエラーが表示されて取り込みができなかったのを修正しました。



## VII. 工事台帳（建設上手くんαのみ）

### 1) 工事台帳マスター登録

- ①共通費配賦詳細設定「配賦率が計算できない場合の処理」の“共通費を次月以降に繰り越す”を選択しても保存されていなかったのを修正しました。



### 2) 完成工事処理

- ① [オプション-振替処理設定] 枝番を使用しないマスターの場合でも、オプションダイアログ内の「仕訳の枝番に以下で指定した工事番号を転記する」チェックボックスとコードを指定する項目が有効のままなので、処理不可状態になるよう修正しました。
- ② [未登録枝番一覧] 「仕訳の枝番に以下で指定した工事番号を転記する」にチェックを付けて、原価振替処理を行った時、未登録の枝番が複数あるはずが、1つの科目につき枝番1つしか表示されない不具合を修正しました。

## VIII. 銀行 CSV 取込

---

- ①支店・科目登録の摘要選択で「CSV 摘要 1 + CSV 摘要 2」「CSV 摘要 2 + CSV 摘要 1」を使用しているとき、先頭の CSV 摘要のみ「銀行 CSV 摘要→摘要名称」に変換していたのを、両方の CSV 摘要を「銀行 CSV 摘要→摘要名称」に変換するように対応しました。
- ②ダミー列 34 以上でも取り込めるように修正しました。

以上